

## 「鶴川図書館大好き！の会」第3回集まりの記録（まちだ未来の会第25回）

2019.8.24

日時：2019年8月24日（土） 14：00～16：30

場所：鶴川市民センター 1F会議室

参加者：11名

### 1. 挨拶（富岡）

7月27,28日の夏祭りご苦労さまでした。怪我、熱中症もなく無事行うことができました。

### 2. 夏祭り報告（鈴木）

ブース入り口に「わたしたちの町に図書館を残してください」と書いた立て看板を置き、朝から準備。4時にスタート。通り道だったので来る人々に手分けして対応した。古本がよく売れた。（両日で2万7千円ほどの売り上げ）要望書署名は1日目225、2日目177、その前に集まった分を合わせて、合計439筆。

図書館閉館を市が決めたことを知らない人が多かった。図書館クイズ参加者98名。景品を渡した。（菅原さんを中心に作成）

#### \*夏まつり参加スタッフの感想

- ・2日間参加。子供達がクイズ景品を選ぶ姿が楽しそうだった。ただ、祭りの中なので、クリーム系のおやつを持ったまま図書館に入って解答探しする子もいて、心配した。
- ・祭り中は、その場で解答できるものの方が良かったかなとおもった。図書館閉館後にクイズのヒントを貼りだしたお話し会室のあたりは暗くて無人の時もあり、少し危険と思った。図書館が廃止されることになったことを知らない人が多く、「困る」という声が多かった。
- ・祭りで親許を訪ねてきた人も多く、廃止に驚いていた。2日目は、市長が看板の前を通り、ちらりと見ていった。運動の存在を改めて認識したのではないか。（市長は広袴在住）
- ・次回、子供達から市長に招待状を出してはどうか。

#### \*ここで自己紹介

- ・元図書館長をしていた。今町田の図書館全体が様変わりしつつあると考えている。
- ・6丁目在住。子供を育てる中で図書館にお世話になった。
- ・6丁目在住。50年前越してきて、図書館には思い出がある。
- ・昔、学校図書館をよくする会で活動。今、文学館応援団を立ち上げたところ。  
住んでいるところには鶴川に在住していた人が多く、署名(議会への請願書)をたくさんしてもらえたが、今度、2度目の署名(市長への要望書)をしてもらうにあたっては、経過を説明しなくてはならないので、聞きにきた。
- ・6丁目在住。閉館することを知らず、驚いている。日頃、買い物ついでに、図書館でレシピを調べたり、面白い本を紹介してもらったり、社交の場にもなっている。少子高齢化や共稼ぎの親が増えていく中で、冒険遊び場と図書館が繋がり、子供たちを成長させていければと思う。なぜ、残せないのかを知りたい。
- ・真光寺在住。長崎出身。現役の時は地域と関われなかった。退職して

地域のために活動したい。自分のためでもある。

- ・5丁目在住。働いているときは早朝出て夜9時頃帰る生活だった。退職後図書館を利用。いま60代70代の男性が多く、子供達はもちろん、年配者のためにもなっている。お話し会や読書会をやっていることなど、表に出ないので、もっと知らせたい。署名を集めていて利用者には周辺だけでなく三輪や緑山の人もいたことに驚いた。
- ・薬師台在住。引っ越してくる前は文庫活動をしていた。今は野津田公園のバラボランティアをして、バラ園が強引に後退させられることに憤り、署名活動をしている。市長は説明会に来て、聞く耳を持たず、図書館問題と同じである。
- ・センター名店街で来年52年目を迎える。商店会には市の情報は入って来ず、図書館の問題もあとで聞いた。存続を求める請願が全会一致で通ったにも関わらず市の方針は変わらず、商店会は今後も運動を継続することを話し合った。URの建て替えには反対し、新担当とは1度話し合ったばかりで、また一から始めている。商店街の2階が50%空き家になっているところに3年契約でもいいから入居をさせてほしい旨要望した。米屋さんが健康上閉店することになり、1年の定期借家で店をやる人がいないか探している。山崎団地は、自治会が空室を無料で借りているということだ。
- ・大蔵町在住。柿の木文庫を35年やっている。
- ・金井町在住。93歳の母と同居。訪問看護師の人が図書館の話に驚き、「子どもの頃毎日鶴川図書館に行って、みんなで輪になって本を読んだ。絶対続けてほしい」とセンターに署名用紙を持って行ってたくさんの看護師さんの署名を集めてくれた。知らせていくことだと思う。

### 3. 今後の活動について

今、出されている案

- ①子供達とPR動画を作成し、上映会も。
- ②鶴川図書館を応援する祭りを開催。
- ③プラスハートで作家による講演会など

面白いから参加してみようという人を集めたい。ビブリオバトルや、詩とジャズのセッションなどもいい。

- ④利用者から募集して、「鶴川図書館大好き」の文集作成。発行。

図書館に配ったり、市長に送ったり。昭島市の図書館に前例。

他にもアイデアが出されている。どう進めるか？

- ⑤として、市議へ働きかけをしていく。図書館に『自治体議会の取扱説明書（トリセツ）－住民の代表として議会に向き合うために－』（金井利之著・第一法規・2019.5）などと新刊も入った。

議員への働きかけが力になるためには、市民の数が物を言う。傍聴することも。

### 質問

- 1) 文学館も同じように存続が危ぶまれたが、なぜ残ったか？

(守谷) 2015年の「事業評価」で現場の説明も必ずしも十分ではなく、図らずも「廃止に近い要改善」という評価になってしまった。開館して10年しか経っておらず、遠藤周作氏はじめ著名な作家の貴重資料が寄贈されていて、全国的な研究者・ファンの期待もあること、森村誠一氏なども存続を求める請願に名前を連ねてくださったことなどがあり、文学館内でもさすが廃止という結論には抵抗があった。一方、図書館は「公共施設再編計画」で館数の削減が載ったため、生涯学習

審議会などでも「ありか見直し方針」でその前提が変えにくかった。

2) いつ頃までにいろいろな取り組みはやる予定か？

要望書の署名活動は、12月28日締め切り。

市の短期計画は2026年までに実施することになっている。

2022年に市議選がある。どのような候補が立つのか、市長選挙がひとつのポイントではないか。

3) URが土地を民間に売ったりするようなことがあるのでは？

(富岡) それはない。以前民間の話には反対し、今回国土館側の棟を民間に売る話にも反対した。

URはバブル後強制的に土地を買わされ負債も多く、空き室があっても賃料を下げない。

#### 提案と検討

・議員に働きかけていくことも確かに必要だ。一方で、図書館の地道な活動を広めていくことを考えたい。親と子どもの本に接触していく機会が少なくなっている今、図書館がやわらかくやっけないか。

・②で、大人と子どものパフォーマンス。町レクの活動として、支援枠がありそう。

広報は各自治会に掲示してもらう。

・②で、子供達の看板作り。大人が段ボールで本の形をした服？を着て、子どもたちが自由に描き、一緒にねり歩く。

・②で、近藤米屋さん所蔵の土器などの収集品を展示。

・②で、紙漉き。ブックカバーやしおり作り等のワークショップ。

・②で、紙芝居など。文学館に大型紙芝居と舞台の貸し出しが可能。

・焚き火を囲むことはいいが難しい。でも、ストーブを焚くことは可能。

・④を並行して取り組み、来年3月までに作る。

：①動画作りは長い時間をかけて進めたい。

以前、桜美林の学生が、商店街の動画を撮りにきたこともある。

・セントラルに市長の応援事務所があったが、話に行ってはどうか？

(守谷) 図書館の費用について

日本図書館協会では、少なくとも一般会計の1%を図書館に当ててほしいという提言をしたが、2017年町田市の総予算1500億円のうち図書館の費用は0.8%。周辺多摩地域での比較でも最低である。

4. 鶴川図書館大好き！の会を市の施設利用システムに登録することについて。

5名以上の構成員名になることに了承。

5. 次回は、9月7日(土)1:30より、同センター第1会議室にて。